

135号

令和4年9月20日

奇数月発行

音響の本らぼん

編集担当

藤井紗綾子(富山)
堀 裕一(石川)
西島 理(福井)

編集・発行人 高野 仁 富山市舟橋北町7-1
(富山県教育文化会館)
電話・FAX 076-441-8635 jin65064@gmail.com

音響家技能認定講座・クリエイティブコースを受講して

永澤 清一

私は、47歳、妻子あり、会社(の労働者)代表です。学校を卒業後、地元でできた(劇場がある)施設を志望して、25年勤務しております。どちらかという、施設管理が主務です。根拠はありませんが、全国の劇場では私と似たような年齢境遇の団塊ジュニア世代が日々現場を支えていらっしゃると思っております。

■ 動機

私のベーシックコース受講は入社してまもなくだったと思います。とにかく年月が経っています。また、年齢相応に40-50代の『学びなおし』や『こころと身体の健康』など研修を促されることも多く、隣町で受講できる今回は敷居が低かったというところでしょうか。

■ 講義と実技トレーニング、

当日は演劇音響操作とジャズミキシングのトレーニングを90分ずつ指導いただき、それぞれ実技試験が行われるカリキュラムでした。

■ 演劇では、演劇における音は、様々な演出効果をもたらすことができるものである。その音響操作の先に舞台が見えるようにオペレーターも演技者であるべき』という教えが印象に残りました。緊張感の中、実際の芝居に音をつけることで、自身の集中力をより高めることができました。

またフェーダーの動かし方で様々な場面を表現することを理解できました。少しですが、役者の笑顔が浮かぶような瞬間も体感することができました。

お二人の講師先生は、とても誠実に丁寧に指導くださいました。そのスマートな指導やアドバイスの引き出しの多さは、とても格好が良く惚れ惚れしました。後進の指導はこうあるべきだなあと感じました。

■ ジャズでは、ビックバンドを収録したマルチトラック音源を13フェーダから出る出音でバランスを取り音楽を表現するトレーニングでした。『音楽を理解し的確なバランスを取るにより演者が行っている音の駆け引きを最大限観客に伝えることができる』という教えが印象に残りました。トレーニングでは受講生それぞれに好みの出音が違うのが面白く、他人の様子を見て聴いて、イメージをシャープにすることができたように思います。



Make Waves



▲ Web サイト



▲ Facebook

ヤマハサウンドシステム株式会社

ベースを下げフォーリズムのバランスをハイハット系でまとめ、サックス系の出音を丁寧揃えてのせ、フォーン系は舞台の上から音がくる様に見えるように加える。自分なりにグレンミラーを演奏する演者の、邪魔はすることがなかったと自負できました。

■筆記試験

ちょうど実技試験が終わるころ、『愛のある問題』がウェブ上にアップされていました(笑)。実技と同様に、フォーカスターという意味では、理論と根拠に基づく知識/実力/能力がなければいけない、そう感じずにはいられない問題質でした。筆記最後の設問「この講座で学べたことを述べよ。」に、「音響家の担う役割を再認識できた。音によって表現サポートできる可能性の広がりを感じ、目指すべきところや方向が見えた」と、C調に答えてしまったのは、『愛のある問題』だったからです。

時を同じくして、別件ですが、会社で40-50代のメンタルケアという研修を受けました。一般的に優秀な人ほど50代にメンタル危機に悩まされるというもので、昨今の社会の変化ではそれもそうでしょう。では、心の元気を保持して前向きに仕事をするにはどうすればよいか？

1. 経験に基づく自信 2. 能力に基づく自信 3. 孤独ではないという自信

のうち、②と③を身につけることで、①の自信に偏らないことが重要なのだそうです。

まさに今回の音響家協会の講座は、今の私にとってストライクすぎて、心の健康までも打ち返し自信を備える機会となったのではないかと、感嘆しました。その意味では、夜の反省会がなかったのが残念でしたが、そのうち嫌になるくらい北陸支部でも機会が戻ることでしょう。

最後になりましたが、今回の音響家協会の講座で得た、たくさんの『気づき』を自分が動くだけでなく、周りのいろいろな人にもいい影響を与える動きにしていきたいと思えます。

受講会場を提供くださった高岡市文化振興財団様、仲間を増やすきっかけを助けて下さった各県の公立文化施設協議会様にも感謝し、結びとします。

(クロスランドおやべ)

うちの祖母

高木 智裕

前回寄稿した際に触れていたダイエット。最終的に2ヶ月半でマイナス12キロ減量し、81キロ→69キロになりました。数値的にも体調的にもバランスが良さそうなので、あとはリバウンドに注意して過ごしております。6月下旬の連日の猛暑日。特に予定も無かったので、犬と近所の祖母宅に遊びにいきました。この祖母、おっとりしているのですが昔から「認知症ではない方のボケ」が面白いのです。

犬(♂)と祖母の久しぶりの再会。

祖母「あれかわいいワンちゃんやね。名前はなんやったっけ？」

私「小太郎だよ」

祖母「あらそうやったね。男の子？女の子？」

私「たぶん男の子ですね」

学生時代に当時中学生だった弟をディズニーランドに連れていきました。弟と共に祖母にお土産を渡しに行きました。

弟「ばあちゃん、お土産」

祖母「ありがとう。どこに行ってきたの？」

弟「ディズニーランド」

祖母「??、何ランド」

私「ディ・ズ・ニー・ランド」

祖母「・・・。ネズミーランド？」

私「・・・。大体、あってます」

祖母、70歳代前半。



作品①

心に響く音づくり

音響計画・コンサルタントから
音響設計・監理・測定・運用協力

浪花千葉音響計画有限会社
Naniwa Chiba Acoustics Inc.

〒160-0006 東京都新宿区舟町1番地13(スリーオークスビル4F)
Phone 03-5919-1081 Fax 03-5919-2256 URL <http://www.nca.co.jp/>

20年程前に祖父が90歳代前半で他界しました。曾祖母が他界した歳も同じく90歳代前半でした。2人とも大きな病気もなく安らかな最後でした。祖父の葬儀が終わった後の祖母の一言。「あの2人みたいに上手に長生きできろうかねえ」。祖母、80歳代前半。

そんな祖母が10月に100歳になります。

祖母の趣味は、60を過ぎてから始めた「絵画」です。始めたきっかけはボケ防止に市民講座に通った事だそうです。始めた頃は日本画を中心に書いていましたが、近年はスケッチブックに鉛筆でデッサンをしています。

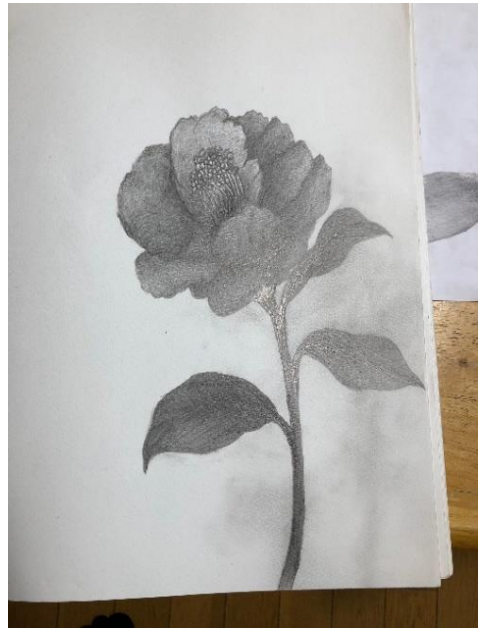
先日、「来年には50歳になります」と伝えたところ、

「やっと私の半分だね」

と言われました。まだ、ボケてはいないようです。

その趣味の絵画なのですが、スケッチブックに描いたものや額に入った物など、かなりの作品数があります。そこで無事に100歳になったら個展を開催するように勧めました。一般のお客さんは居なくても良いので、子から玄孫まで30名ほどが祖母に会う機会になればいいなと思っています。

雨の日以外は、約30分の散歩をする祖母。まだまだ長生きして笑わせていただきたいです。

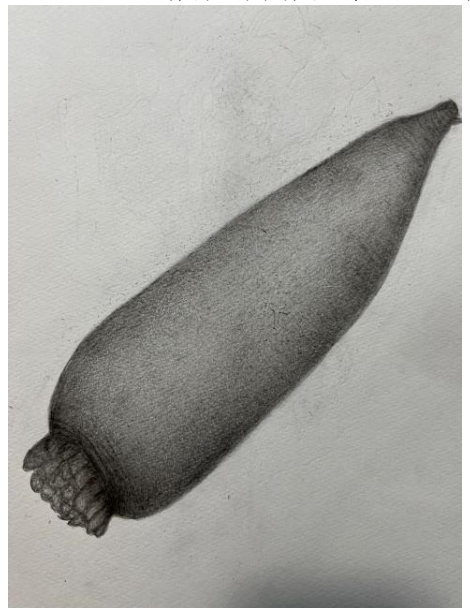


作品②

(富山県高岡文化ホール)



作品③



作品④

Vi2000™

会場を思いのままに制御する
オールインワンのデジタル・ミキサー
「Vi3000」のコンパクト・モデル

ヒビノ株式会社 <http://www.hibino.co.jp/>

北陸おでかけバスの旅2

堀 裕一

北陸おでかけバスは、土日祝限定で、北陸エリア自由周遊区間内の普通列車が1日2580円で乗り放題のフリータイプのきっぷです。青春18きっぷと違って、別途特急券を購入すると特急列車にも乗車できます。以前かわらばんで、このおでかけバスを使った福井県の敦賀旅行を紹介しました。その後富山県の滑川・魚津旅行でも利用して、今回で3回目、滋賀県の長浜・彦根を旅してきました。

北陸おでかけバスのエリアは長浜までなので、長浜から先は使えません。そのため米原までの特急列車には乗れないので、長浜着の特急しらさぎに乗りしました。金沢が発発だったので特急券(2200円)のみ追加購入して自由席で行きました。目的地の彦根もエリア外なので長浜ー彦根間は別料金(片道240円)です。長岡に到着後、乗り換え待ちの間に、長浜城歴史博物館や長浜鉄道スクエアを散策してから、お昼頃に彦根に到着しました。丁度腹が空いていたので、彦根駅前にあるちゃんぽん亭総本家さんのご当地グルメ『近江ちゃんぽん』をいただきました。和風だしのやさしい味で、野菜もたっぷり入っており大変美味しかったです。せっかくのご当地グルメの店なのに、娘の注文は普通の「醤油ラーメン」でした。なかなか難しいお年頃です。

ご飯を食べてから彦根城に向かいました。駅から徒歩で約15分程度です。彦根城は天守が国宝に指定されており、入城料は一般800円でした。天守までの道のりは、とても攻める気にはならないほど急こう配で、息を切らしながら登りました。天守内の階段はそれ以上に急で、なおかつ狭いので皆さんお気を付けください。汗だくになりながら天守の見学を終えると、少し離れた場所に黒山の人だかりができていました。これからご当地ゆるキャラの「ひこにゃんショー」が始まるようです。ベンチに座って水分補給をしていると、ベンチ横の建物からひこにゃんが登場しました。どうやらイベント会場への導線上のベンチに私が座っていたようです。想定外のひこにゃん登場に妻も娘も大変喜んでおりました。彦根城内と玄宮園という庭園を見学してから、最寄りの観光スポットで、白壁と黒格子の町屋風に統一された「夢京橋キャッスルロード」に行つて小休止しました。抹茶ソフトに近江牛メンチカツ・近江牛コロッケなど、観光客が喜びそうなものを喜んで食べてきました。



近江ちゃんぽん



彦根城



ひこにゃん登場





全てが革新的 次世代ワイヤレス・インカム

BOLERO WIRELESS INTERCOM

アンテナとベルトバックだけで運用できる*Standalone*バージョンと、Artistインカムシステムと統合して使用できる*Integrated*バージョンを選択可





オタリテック株式会社 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16 TEL: 03-6457-6021 www.otaritec.co.jp

その後再び長浜へ16時20分ごろ戻りました。博物館関係の閉館時間が17時だったので、今回博物館の見学はあきらめて、旧市街にある伝統的建造物群を生かした観光スポットの黒壁スクエアに行きました。娘はフィギアで有名な海洋堂フィギアミュージアムの展示を見に行き、私は待ってる間に滋賀県の特産品「赤こんにやく」をつまみにビールタイムを楽しみました。娘と合流した後は、ぶらぶら歩きながら土産でも買って、夕飯に長浜グルメを食べてから19時の列車で金沢に帰ろうと思っていたのですが、ここで緊急事態発生です。博物館が閉館する17時に合わせて、土産物屋さんが次々と営業を終了しはじめました。土産物屋さんだけでなく飲食店も店じまいしています。先程ビールを飲んだ店も店外向けの販売を終え、そろそろ夜の営業準備に取り掛かっているのだなと思っていたのが、普通に営業を終了してました。この日がたまたまだったのかもしれませんが、日曜日の長浜は17時で街全体が終了してしまう恐れがあるので注意が必要です。仕方がないのでお土産と夕飯を求めて駅前の大型スーパー平和堂に行きました。ここで長浜のご当地パン「サラダパン」と「サンドウィッチ」をお土産に購入。帰りの電車で食べるごはんとお酒も確保し、無事帰りの特急しらさぎに乗って金沢に帰りました。帰りは指定席で特急指定料金(2530円)の追加でした。今回は長浜の観光があまりできなかったのですが、また北陸おでかけパスを使って長浜に来て、ゆっくり観光してみたいと思います。みなさんもお得な切符を使って鉄道の旅はいかががでしょうか。

(金沢歌劇座)



海洋堂ミュージアム



赤こんにやく



ご当地パン

感動を支える、伝統と革新

Morihei

森平舞台機構株式会社

本社 〒111-0033
東京都台東区花川戸二丁目 11 番 2 号
TEL(03)3842-1621 (代表)

北海道・東北・富山・名古屋・

大阪・九州・埼玉・栃木

♪♪♪♪ 編集後記 ♪♪♪♪

先月発行の134号でのキャンピングカーの話題、そして今月号の滋賀への旅行の記事を読むと、やっぱり旅に出たくなりますね。コロナ禍となつてからは、仕事で出張には出かけますが、プライベートな旅行というものには全く縁がなくなってしまいました。県外の友人たちに会ったり、ご当地の美味しいものを頂くことが自由にできるようになるまでは、もうしばらく我慢でしょうか。

前述のサラダパンは私も愛好する一品ですが、サラダとは名ばかりで、マヨネーズで和えた「たくあん」のペーストをコッペパンにたっぷり挟んだ滋賀県のローカルフード。これが意外とおいしいんです。コールスローやトマトなどを挟んだ方が本当のサラダパンなのでしょうが、本当のサラダを挟むよりマヨネーズを和えたたくあんを挟んだ方がサラダらしい味がする、と発案者は思ったのでしょうか。本物より本物らしく、その豊かな発想と夢のある仕事は、我々音響家も学ぶところが多かったです。（高野 仁）

◇編集長一押しのローカルフード◇

ひるぜん焼きそば(岡山)



ソースは使わず、味噌をベースにニンニク、玉ねぎ、リンゴなどを合わせた独自の味噌だれを使い、かしわ肉とキャベツを入れたやきそば。

あんかけスパゲッティ(愛知)



肉や野菜のコクとうま味が溶け込んだピリ辛ソースに、もっちりとした極太麺をからめて食べるスパゲッティ。予め茹でている麺をラードなどにくぐらせて辛味の効いたソースをかけるのが特徴。

フーチャンプルー(沖縄)



沖縄独特の太いくるま麩に卵の衣をたっぷりつけ、豚肉と野菜を炒め合わせた彩の良い炒め物。

※今回は北陸以外のローカルフードを紹介しました。

日本音響家協会北陸支部会員名簿

職場を異動になった人、住所が変更になった人は、事務局長までご連絡ください。

(岩崎 証意 hokuliku@seas-jp.org)

- | | |
|-------|---------------|
| 稲村由香里 | (株)金沢舞台 |
| 岩崎 証意 | 富山県教育文化会館 |
| 浦風 昭一 | 有限会社ショー・ワン |
| 江口 新一 | 金沢市民劇場 |
| 大野 吉信 | (株)開進堂楽器 |
| 大畑 雅之 | (株)イメージアップ |
| 加藤 敏久 | フリーランス |
| 木村純一郎 | 富山県文化振興財団 |
| 澤田 誠 | 入善コスモホール |
| 四折 貴之 | |
| 鹿野 浩司 | 株式会社 エスアールディ |
| 新谷美樹夫 | L. F. I (株) |
| 杉本 慎介 | 高岡市生涯学習センター |
| 高木 智裕 | 富山県高岡文化ホール |
| 高野 仁 | 富山県教育文化会館 |
| 鷹栖 了 | フリーランス |
| 高畑 進 | (株)開進堂楽器 |
| 竹内 裕哉 | 株式会社 エスアールディ |
| 田嶋 友亮 | 氷見市芸術文化振興財団 |
| 寺 仁 | 金沢市民芸術村 |
| 永澤 清一 | 財団法人クロスランドおやべ |
| 中川 靖夫 | 富山県高岡文化ホール |
| 永原 諒 | L. F. I (株) |
| 西 一彦 | フリーランス |
| 西畠 理 | ハートピア春江 |
| 藤井紗綾子 | 富山県民小劇場オルビス |
| 堀 裕一 | 金沢歌劇座 |
| 牧野 豪 | 金沢市民芸術村 |
| 水上 智之 | フリーランス |
| 水野 文雄 | フリーランス |
| 湊 晃 | 北日本放送 |
| 本 輝夫 | 聲音軒本舗 |
| 森山 茂 | エービシステム |
| 山口 雅照 | 金沢歌劇座 |
| 山崎 武志 | フリーランス |
| 山本 広志 | 高岡市民文化振興事業団 |
| 吉田 正勝 | フリーランス |



エムアンドエヌはいつでも皆様の
パフォーマンス・パートナーです

M&N 株式会社エムアンドエヌ
<http://www.mnsv.co.jp>